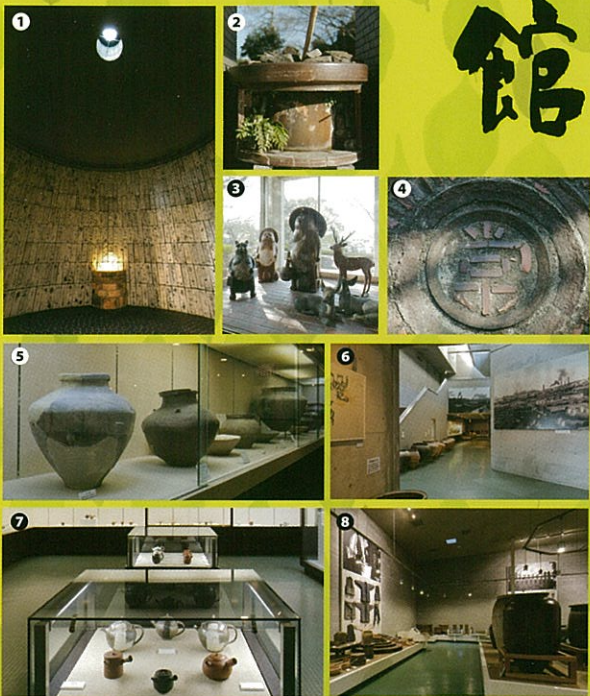




常滑市

資料館

古くからの常滑の人々と焼き物とのかかわりを学ぶことができる施設です。
展示室には、国指定重要有形民俗文化財である「常滑の陶器の生産用具及び製品」1,655点のうち約300点を展示してあります。



① 窯の中を疑似体験できるエントランスホール。② 土管で出来た水琴窟。水滴が落ちる優しい音色を体験できます。③ 狸達もお出迎え。セントレアから飛び立つ飛行機が見えるかな？ ④ 隠れ「常」文字。どこにあるか探してね。⑤ 国指定重要有形民俗文化財の数々。平安末期から江戸時代までの貴重な大甕も展示。⑥ 特別展示室では、名工の作品だけでなく、右手の作品も展示。⑦ 生産用具、製品を分かりやすく展示。人の背より高い大甕も！

とこなめ陶の森



Tokoname Tounomori



交通

常滑駅からタクシーで約5分、徒歩約30分
常滑駅から知多半田駅行きバス「奥栄町」下車、徒歩約7分
【自動車】国道247号、新瀬木橋東交差点から3分

とこなめ陶の森 — 資料館
— 陶芸研究所
— 研修工房

資料館（事務所）

住 所：〒479-0821 愛知県常滑市瀬南町4丁目203番地
開館時間：午前9時～午後5時 ※3施設とも同じ
休 館 日：月曜日（祝日の場合は翌日休み）年末年始。※3施設とも同じ
電 話：0569-34-5290 fax.0569-34-6979
E-mail：tounomori@city.tokoname.lg.jp

陶芸研究所 研修工房

住 所：〒479-0822 愛知県常滑市奥栄7丁目22番地
電 話：0569-35-3970 fax.0569-35-3970
E-mail：tounomori@city.tokoname.lg.jp



とこなめ陶の森



Tokoname Tounomori



焼き物文化の創造と発信の地、とこなめ陶の森。
半世紀にわたる常滑焼の振興と伝承の地を
のんびり散策してみませんか。



建物は著名な建築家、故堀口捨己氏により設計され、全国から建築ファンが訪れます。昭和36年10月に建物が完成し、展示室には平安末期から鎌倉時代の古常滑をはじめ現代の作品までを一堂に展示。自然釉の大きな壺や甕は一見の価値があります。また、開設当時から陶芸家の育成に努め、これまでに約160名の研修生が巣立ち、中には世界的にも活躍している陶芸家もいます。



① 工房では作家たちが作品を磨いています。作陶風景は研修工房の外から見学できます。② 三畳敷きの茶室は、細部にまでこだわりをもっています。③ 研修工房では、2年間基礎から学ぶことができます。④ 自然釉常滑大甕(鎌倉時代) ⑤ 窯場では、研修生が薪窯を三昼夜焚き続けます。⑦ 自然釉の古常滑作品に来館者も魅了されます。⑧ 屋上にはデザイン化された4本の角があります。これは自然光を展示室に取り入れる構造となっています。

陶芸研究所

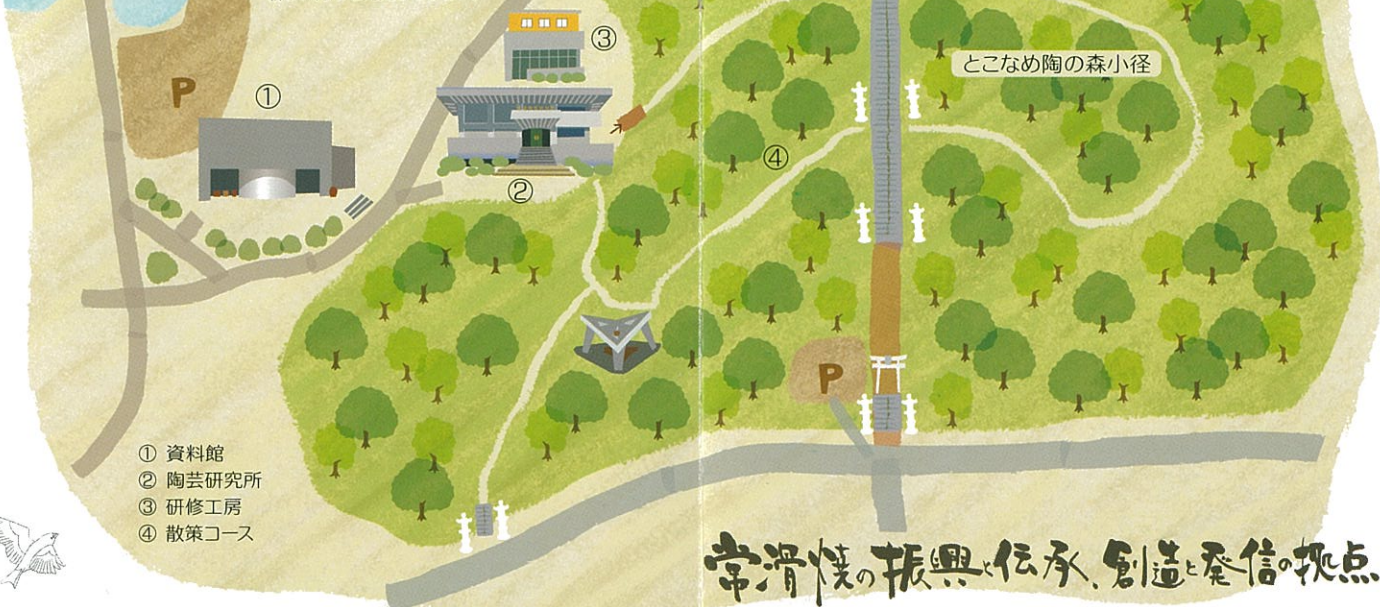
常滑市

研修工房

とこなめ陶の森

Tokoname Tounomori

「とこなめ陶の森」は、資料館、陶芸研究所、研修工房の3施設の総称です。常滑焼、焼き物文化の創造と発信の拠点から常に新しいものが生まれています。「とこなめ陶の森」を自由に散策して、新しい何かを発見して下さい。



- ① 資料館
- ② 陶芸研究所
- ③ 研修工房
- ④ 散策コース

常滑焼の振興と伝承、創造と発信の拠点



1	2	4	6	8	
	3	5	7	9	10

① 伊奈製陶(株) 創業者の故伊奈長三郎氏は、常滑焼の興隆を祈願し、陶芸研究所建設のため多額の寄付をされました。② 常滑の土管の敷輪。滑り止めになると受験生にも好評。③ 長い年月を経て自然と出来た道。森は四季折々の表情を見せ、気持ちの良い空気が流れています。④~⑦ 散策コースには、様々な作品が点在しています。⑧ モダンな東屋。パワースポットで休憩を。⑨⑩ 少し迷いながら歩いて、お気に入りの作品を見つけるのも楽しいですよ。来るたびに色々な作品に出会えます。